

環境学習みえ

2015年3月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行

表紙の人／左：布谷 知夫 さん（三重県総合博物館 館長）・右：中尾 正己さん（三重県総合博物館ミュージアム・パートナー会長） 2015 No.60

春

みんなでつくる博物館1 ～三重の魅力を再発見～



みんなで作る博物館 1

～三重の魅力再発見～



平成 27 年度『環境学習みえ』では、『みんなで作る博物館』をシリーズで特集します。三重の多様で豊かな自然と歴史・文化について、総合力を発揮して探究し、保全・継承する MieMu(みえむ)：三重県総合博物館。学びと交流を通じての人づくりや、愛着と誇りを育み、地域づくりに貢献するMieMuのさまざまな活動を取り上げます。また学芸員のお話などをご紹介します。予定で



【お話を伺った人】



MieMu みえむ 三重県総合博物館
MieMu・Mie Prefectural Museum, Japan

ぬの たに とも お
館長 布谷 知夫さん

平成 26 年 4 月 19 日にオープンし、11 月時点で入館者数 30 万人を突破した MieMu(みえむ)：三重県総合博物館。子どもから大人まで多くの人たちに利用される活気ある博物館です。これまで MieMu が掲げる活動理念『ともに考え、活動し、成長する博物館』に基づいて、参加型の博物館として運営されてきました。今年 4 月に開館 1 周年を迎えるにあたって、新たな企画も始まります。

平成 27 年度春号では『みんなで作る博物館』シリーズの第二弾として、三重県総合博物館館長の布谷さんに展示の見どころを含めた MieMu の楽しみ方や博物館活動についてお話を伺いました。既に MieMu へ行ったことのある人も、博物館の上手な利用の仕方を知って、もっと楽しみましょう。

開館 1 周年を迎えるにあたって

みんなで作る博物館

『みんなで作る博物館』として開館前には『MMM(みえマイミュージアム)プロジェクト』が実施されました。みなさんに新しい博物館の活動や運営に参加してもらおうという企画です。

その取組みのひとつは、基本展示室の中で見ることが出来ます。『熊野灘東紀州』コーナーの天井に吊り下げられた迫力ある約 3 千 5 百匹のマイワシの群。この一匹一匹が参加者の手作りなのです。

布谷館長「参加したことが形に残ることのできたの博物館として親しみを持ってもらおうと考えました。」

そのほかにも『お雑煮プロジェクト』や『三重のくらしの写真収集プロジェクト』などが催され、多くの人が博物館づくりに携わってきました。

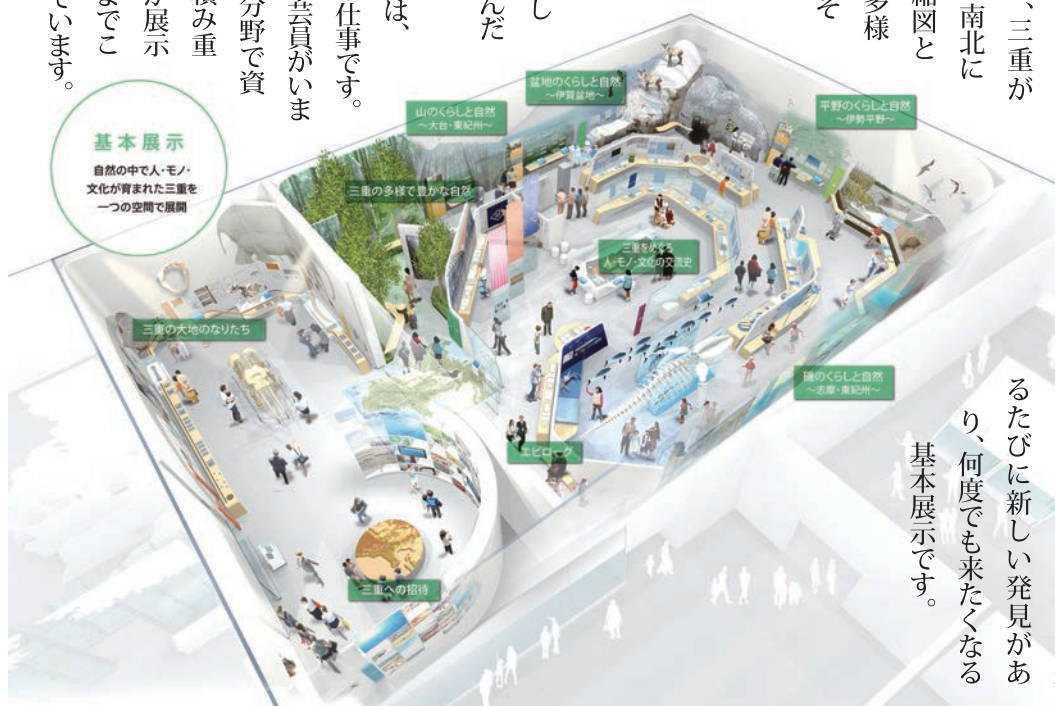


三重の自然と歴史・文化の総合博物館 Mie Mu

基本展示は、三重の多様で豊かな自然と、その中で育まれてきた私たちのくらしと歴史が一体となった総合展示です。全国の博物館でも自然と人文それぞれの分野がひとつの展示室で総合的に展示されるのは珍しいことだそうです。

Mie Muのテーマは、三重が持つ『多様性の力』です。南北に長い三重県は、日本の縮図ともいえる豊かな自然と多様な生態系がみられます。そこには自然と関わり合いながら育んできた人びとのくらしがあり、また東西文化の結節点として、古来より人・モノ・文化の交流が盛んでした。三重には多様性に富んだ面白さがあります。

これらの展示を創るのは、Mie Muで働く学芸員の仕事です。現在、博物館には17名の学芸員がいます。学芸員はそれぞれの分野で資料の収集や調査研究を積み重ねてきました。その結果が展示に反映されており、細部までこだわり抜いた内容となっています。



一方的に見るだけの展示ではなく、見る人が自分の知識やこれまでの経験振り返り、『自分たちの地域の自然や歴史・文化に関心を持つきっかけ』につながればという思いが込められています。だからこそ来るたびに新しい発見があり、何度でも来たいくなる基本展示です。

屋外にあるミュージアムフィールド。市街地の中に残された緑地として、身近な野鳥や昆虫、植物を観察するのによい場所となっています。



本物の自然を見る

Mie Muの屋外にあるミュージアムフィールドは、博物館内の展示にもつながる屋外展示として、アベマキやシイの林が広がるかつての里山の一部が今も残されています。本物の自然に触れることができるので、Mie Muを訪れたら立ち寄ってほしいスポットです。

『木のずかん』コーナーでは紙の原料となるコウゾやミツマタなど、わたしたちのくらしと関わりのあるさまざまな植物が植えられ、ミュージアムフィールド全体がまるで『ミニ植物園』のようになっています。

ミュージアムフィールド



林の中には自由に入ることができ、夏にはカブトムシを捕まえたり、秋にはドングリを拾ったりと、四季を通じて色々な動植物とふれあうことができます。

ミュージアムフィールドの植物・生きもの



実体験にこだわった観察会

ミュージアムフィールドでは毎月『館長と歩こう！観察の林』という自然観察会が開催されています。もとは『森の生態学』を専門とする布谷館長は、NACSJ（日本自然保護協会）の自然観察指導員講習会講師という、もうひとつの顔を持っています。

その布谷館長といっしょにフィールド内の『シイの林』から『アベマキの林』を散策し、主に樹木や植物を中心に観察します。布谷館長の観察会には、あるこだわりがあります。それは解説だけでなく、できるだけ参加者自身が植物などに触れたり、匂いを嗅いだりするような実体験をすることです。



写真：樋口るり子さん

自然の中には遠くから見ていただけ

では気づかないことがたくさんあります。木の枝には小さな花や実がついていて、近づいて見ることで、始めて気づくこともあるのです。

布谷館長「植物や生きものの名前を知ってもらって終わり、という観察会にはしたくないと考えています。」

名前だけでなく「その植物はどんな植物なのか？」というお話を聞くことで、参加者の興味はさらに深まります。こうした体験は身近な自然に目を向けるきっかけにもつながります。

この観察会は平成27年度も開催予定です。布谷館長の植物に関する興味深いお話を聞きながら、春のミュージアムフィールドを歩いてみませんか。

平成27年度開催予定

館長と歩こう！ 観察の林

布谷館長といっしょに、ミュージアムフィールドを探検してみませんか？観察の林で、昆虫や植物を観察してみよう！

日時 4月～11月 第1土曜日
(8月を除く) 13:30～14:30

受付 当日先着制
※開始の1時間前から整理券を配布しています

定員 20名 対象 小学生以上

博物館から広がる活動の輪

博物館とは「展示を見るところ」というイメージが多くの人にはあると思います。Mie Muはその枠組みを越え、三重県の自然と歴史・文化に関する興味や関心、目的に応える活動を展開する拠点としても新たに注目されています。

布谷館長「博物館を利用する方法は展示を見る以外にもたくさんあります。利用者の目的にあつたさまざまな方法があるということをもっと知ってもらいたいと思っています。」

Mie Muの基本展示室は、延べ床面積1万779㎡に対し、820㎡と1割にも満たない。ほかの博物館と比較してもコンパクトなものです。多様なニーズにあわせた博物館の利用の仕方があるとの観点から、

誰もが自由に利用できる交流創造エリアが広く設けられ、多くの人でにぎわっています。

交流創造エリアには活動の中心となる『学習交流スペース』をはじめ、『こども体験展示室』、『資料閲覧室』などがあり、それぞれの目的に沿って利用することができます。『三重の実物図鑑ルーム』やMie Muのシンボル『ミエゾウ』の全身復元骨格などもこのエリアに配置されていて、無料で利用することができます。

誰でも気軽に立ち寄って楽しみながら学べる新しい博物館。親子でイベントに参加したり、講座に参加して専門的な知識を深めたりするだけでなく、学芸員が三重のさまざまな話題に関する相談や、利用者の活動・交流のサポートもしてくれます。

展示を見るだけじゃない！ 博物館をもっと楽しむ方法

『レファレンスカウンター』



学芸員がレファレンスカウンターに当番制で常駐しており、博物館に収蔵される資料の閲覧やそのほか質問・相談などにも対応してくれます。

『三重を知る 1,000 冊』



学芸員のおすすめや展示と関連する本が並んでいます。ゆっくりと本を読みながら過ごすことができます。

MieMuの日

日時 4月19日(日) 9:00~17:00

参加賞がもらえるワークショップなど楽しいイベントが盛りだくさん!

開館記念企画展第6弾

親鸞
高田本山 専修寺の至宝

期間 3月21日(土・祝)~5月10日(日)



木造親鸞聖人坐像

観覧料

一般800円 学生480円
高校生以下無料詳しくは三重県総合博物館
ホームページをご覧くださいMieMu みえむ 三重県総合博物館
MieMu・Mie Prefectural Museum, Japan

住所 三重県津市一身田上津部田 3060

Tel 059-228-2283 Fax 059-229-8310

Mail MieMu@pref.mie.jp

Web http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/

開館時間

交流創造エリア 午前9時~午後7時(無料)

展示エリア 平日:午前9時~午後5時

土・日・祝:午前9時~午後7時

(最終入場は、閉場30分前まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始(12/29~1/3)、その他別途定める日



MieMu とは

三重県総合博物館の愛称で、「三重のミュージアム」とともに「三重の夢」を表現しています。三重の素晴らしさを知ること、未来への夢を持っていたけような博物館にしていきたいという思いが込められています。

27年度 三重県環境学習情報センター主催講座

三重県環境学習情報センターでは、27年度も三重県総合博物館と共催で自然関連をテーマにした環境学習指導者養成講座を開催予定です。みなさまのお申込みをお待ちしています!

スキルアップ講座 絶滅危惧種

ヒメイトトンボの保全

日時 5月16日(土) 9:45~11:40

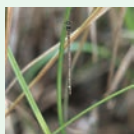
講師 渡辺 守氏

(筑波大学大学院生命環境科学研究所 教授)

会場 三重県総合博物館
(MieMu)

対象 18歳以上

お申込み・お問合せ

三重県環境学習情報センター
Tel 059-329-2000 Fax 059-329-2909

写真提供 三重県総合博物館

もっと上手に博物館を利用してみませんか

「三重県総合博物館 ミュージアム・パートナー」

皆さんの好奇心に基づいて、博物館とともに三重の自然と歴史・文化について探究し、広くその価値を発信する活動を行います。

博物館の良きパートナーとして博物館の価値を高めると共に、多様な人々が集い学び合う場としての効果を活かし、より良い地域を創造していくことを目的とします。

入会するには?

小学生以上で、三重の自然と歴史・文化に関心のある方、博物館で活動してみたい方はどなたでもご参加いただけます。

活動は個人/グループなど、さまざまな方法があります。学芸員と共に調査・研究したり、博物館活動へ参加することができます。

自分の興味に合うグループがあれば、そこに参加することも可能です。グループ活動は各活動日に参加して、担当学芸員にアドバイスを受けながら活動しています。

※グループ活動に参加するには、ボランティア保険への加入が必要です。

平成 27年度

ミュージアム・パートナーグループ

- 民俗グループ
- 歴史グループ
- ユニバーサル・デザイングループ
- 染織グループ
- 生きもののグループ
- おもしろ博物館グループ

メンバーの特典

『ミュージアム・パートナー通信』をはじめ、博物館発行の情報誌『みえんしゅ』、企画展リーフレットや各種催し案内などが受けられます。

また企画展の内覧会への招待や、ミュージアム・パートナーを対象とした講座『こだわり講座』、『フィールドワーク』、学芸員による『ミニ講座』などに参加することができます。

ご入会方法については
三重県総合博物館までお問合せください

会員区分	年会費
一般会員	3,000 円
家族会員	4,000 円 左記金額は3名まで。 4人目からは各人+1,000 円
学生会員	(小・中・高校生) 2,000 円

三重県総合博物館 ミュージアム・パートナー 会長

なか お ま さ み
中尾 正己さん にお話を伺いました

ミュージアム・パートナーには「〇〇についてもっと調べてみたい!」「博物館で好きなことをさがそう!」など、さまざまな人たちが集まっています。

中尾さんは会長を務めながら『歴史』『民俗』グループに所属して活動しています。

なかでも『歴史』に興味を持ったのは、ミュージアム・パートナーの前身であるサポートスタッフに入会してからでした。「自分の家系を調べたい」と思ったことがきっかけだったそうです。

ひとりではどのように調査をしていいか

わかりませんでした。『歴史』グループで出会った仲間の協力があった、家系図を調べることができました。それ以降『歴史』の魅力にどんどんはまっていっていったそうです。

中尾さん「自然や歴史…どの分野も総合的に見れば、深く関連しています。興味を持った分野で幅広く活動してもらえたらと思っています。」

今年3月には『ミュージアム・パートナー 成果発表会』が開催され、個人やグループによるこれまでの活動に関する展示や発表などが行われました。

『ともに考え、活動し、成長する博物館』

利用者の学びによる成長とともに、博物館もさらに成長し、多様な利用者を受け入れていきます。あなたも自分にあつた博物館の利用の仕方を見つけ、博物館活動を通して、地域の魅力を再発見してみてください。

『みんなでつくる博物館』シリーズが、みなさんにとって『人と自然との関わり』や身近な『環境』について考えるきっかけになればと思います。

次号では、生物(昆虫)担当学芸員の大島康宏さんにお話を伺います。今夏開催予定の企画展『あんな虫、こんな虫、そんな虫』身近な小さな生きものたち』に関するお話や子どもたちと一緒にしている昆虫調査活動についてもご紹介いたします。

平成27年
1月4日(日)・2月1日(日)環境学習推進員の
木村京子が
担当しました!三重県でも熱帯夜が
増えています。パソコンのスライドで、
わかりやすくお話します。待機電力をカットするには、
どうしたらいいでしょう?ハイ。
コンセントからプラグをぬく。駐・停車時の
アイドリングストップも。「エコドライブ」って
どうやればいいでしょう?センターでも、県内各地へのお出前でも、
どちらでも開催可能です!社会見学の時に、あるいは学校の授業、市民団体の
学習会、公民館の講座、企業の環境学習に「環境・体
験講座」をご利用ください。

「地球温暖化と省エネルギー講座」

時 間 45分～(要相談)

人 数 10人以上～大人数対応

対 象 小学校高学年以上

四日市市勤労者・市民交流センター
「地球温暖化と
省エネルギー講座」環境・体験講座のようすを
紹介するノウ!

四日市市勤労者・市民交流センターの職員の皆さんの研修として、「地球温暖化と省エネルギー講座」を出前講座で実施しました。

「地球温暖化と省エネルギー講座」は1回でも可能ですが、温暖化に関することと省エネに関することを分けて実施することもできます。今回は、1月～3月まで3回に分けて実施することになりました。

1回目(1月4日)は地球温暖化のメカニズムや温室効果ガス、現在起こっていることとして、二酸化炭

素の増加、平均気温の上昇、台風の強大化、昆虫の分布の変化、早くなつてきている桜の開花時期、など。そして予測として、絶滅するかもしれない生物、反対に蚊の分布が拡大して広がってくるかもしれない感染症のこと、高潮や津波による危険地帯が増加することなどについてお話ししました。

2月におこなった2回目は、温暖化の対策として省エネルギーをテーマにしました。家庭での電気使用割合が多い、冷蔵庫・照明・テレビ・エアコンを取り上げて、どうしたら省エネにな

るかを考えていただきました。

3月の3回目は、勤労者・市民交流センターで取り組める省エネなどについて、考えていただこうと思っています。

地球温暖化は私たちの生活に深く関わっています。誰もが関心を持ち、省エネ等に取り組んでいただきたい問題なのです。

「地球温暖化と省エネルギー講座」は、学校の授業、地域や職場の研修、公民館の講座など、幅広くご利用いただけます。

【報告 環境学習推進員 木村京子】

環境・体験講座

水質チェック、買い物ゲーム、大気調査講座、ごみ・リサイクル講座、ふろしき活用講座、紙すき体験、自然体験(自然観察、バードウォッチング、水生生物調査)、天文講座、エコソング「うたおう&おどろう」など

◎講座の内容や対象については、環境学習情報センター Tel (059)329-2000までお問合せください。お申込みは原則、希望日の1か月前までをお願いします。



春のキッズエコフェア 開催します! 入場無料

4月25日(土)・26日(日) 10:00~15:00

今年も、体験を通して楽しくエコを学ぶ「春のキッズエコフェア」を開催します!

25日は「星たまごプラネタリウム」や牛乳パックで「紙すき」など、センターの環境講座の体験ブースを出展します。

26日は、木を使った工作や自転車発電体験など、県内で活躍する環境活動団体のみなさんに出展していただきます。

また両日とも、飲食ブースがあるので、マイ箸をお持ちくださいね♪みなさまのご来場をお待ちしています!!

プラネタリウムで星を見てみよう



自転車発電を体験しよう!



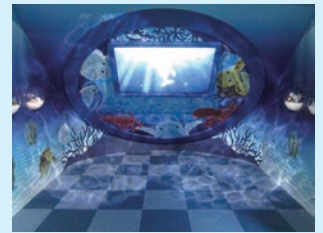
26日
のみ

ワクワクふれあいまつりブログ <http://wakufure.sblo.jp/>

展示ホールの一部が リニューアルしました!

美しい伊勢湾を取り戻そう!

展示ホールが平成27年3月にリニューアルしました。スナメリたちが子どもたちに語りかけるメッセージ映像を通して、海岸漂着物についての現状・問題点・取組を学ぶことができます。



子どもから大人まで、幅広い年代の方を対象とした展示物となっています。穏やかで豊かな里海、伊勢湾の海の中に潜り込んだような疑似体験をお楽しみください。

・校内外の清掃活動を生徒会と合同で行いました。校内の「ゴミ拾い」を複数回実施しました。
・夏には恒例の「雨水タンク」IIタメ夫さんを利用して「打ち水大作戦」を行いました。

・今年度からの取組として、冬場に「暖房設置温度」の啓発ポスターを作成し、校内の各部屋に掲示しました。冬場の取組は少なくなりがちなので、頑張っていました。

季節に応じた環境マインドを高める取組を実施しています。学校だけでなく、家でも実施したいと部員は話しています。

どのような活動を
していますか?



三重県内高校で唯一のこどもエコクラブです。定時制で学ぶ高校生が環境美化活動を行っています。

北星高校環境美化部(四日市市)

三重県のこどもエコクラブ活動紹介



こどもエコクラブ イメージキャラクター「エコまる」

幼児(3歳)から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。メンバー1人とサポーターが1人いれば、いつでも登録できます! 環境について知りたい、なにか始めたい方、ぜひご利用ください!
<http://www.j-ecoclub.jp/>

- 入会費・登録費無料
- お問い合わせは
環境学習情報センターまで



「夏のゴーヤはもっと育ててほしい。一生懸命育てたけれどうまくいかなかった」「冬の暖房温度PRは、部屋ごとに大ききも中身も違うので同じ設定というのってなかなか」など環境美化部の部員として、実際に取り組んでみないとわからない気づきがいつもあるようで、そのあたりの新鮮な発見ができることが活動をしていてよかったことです。



温度設定の啓発活動

活動していて良かった
ことはなんですか?



- ・メンバー数 10名
- ・サポーター数 2名
- サポーターの坂田先生に聞きました

学校の先生の場合	地域NPOの場合	自治体の場合
2～3時間の研修にご利用ください。	メンバーのレベルアップにご利用ください。	市町での環境活動を増やすキッカケ作りにご利用ください。

主催講座を出前講座としても実施できます。詳しくはお電話下さい。

環境学習指導者養成講座 環境基礎講座

①6月6日(土) ②6月13日(土) ③6月28日(日) ④7月5日(日)
⑤8月1日(土) ⑥8月8日(土) 全6回 **開催**

会場	サン・ワーク津(津市)	締切	5月20日(水)
内容	環境をいろいろな視点から考え、幅広く環境について学びます。		

環境学習指導者養成講座 もったいない名人養成講座

①6月28日(日) ②7月4日(土) ③8月2日(日) ④8月23日(日)
全4回 **開催**

会場	サン・ワーク津(津市) 三重県環境学習情報センター(四日市市)	締切	5月20日(水)
内容	ごみゼロ社会実現のため、3Rを進め、ごみの減らし方などを地域で指導する「もったいない名人」を養成します。		

環境講座 春のバードウォッチング

5月2日(土)

会場	三重県上野森林公園(伊賀市)	期間	4月2日(木)～23日(木) 先着
内容	上野森林公園の中を歩いて、野鳥を観察します。野鳥の説明も行うので、初めての方でもお気軽にどうぞ。双眼鏡の貸出しも行います。		

環境講座 ヒメマイトトンボ観察会

6月27日(土)

会場	宮川浄化センター(伊勢市)	締切	5月27日(水)
内容	絶滅危惧種ヒメマイトトンボの生息地保全についてお話を聞いた後、敷地内でヒメマイトトンボの観察を行います。小雨決行。		

スキルアップ講座 同日2講座 開催

【日程】5月16日(土) 【締切】4月21日(火)
※会場は異なります

絶滅危惧種ヒメマイトトンボの保全

時間	9:45～11:40	会場	三重県総合博物館(MieMu)(津市)
内容	伊勢市にある宮川浄化センターで行われてきたヒメマイトトンボ生息地保全の取り組みについてのお話		

ESD世界会議後の未来へ

時間	13:30～16:00	会場	三重県総合文化センター生涯学習センター棟(津市)
内容	◇ESDとは ◇学校でのESDの取組 ◇ESD世界会議関連の会合の内容 ◇ESDの今後 などについてのお話		

スキルアップ講座 スズメバチの生活史

6月21日(日)

会場	三重県総合文化センター生涯学習センター棟(津市)	締切	5月18日(月)
内容	これからの季節、野山に出かける際に注意が必要なスズメバチの知られざる生態について学びます。		

スキルアップ講座 生態学シリーズ「共存と絶滅」

①9月12日(土) ②10月 ③12月 ④平成28年2月 全4回 **開催**

会場	津市内を予定	締切	①8月18日(火)
内容	①オーストラリアの有袋類 ②恐竜の繁栄 ③恐竜の絶滅 ④生物多様性		

講座	開催時期	講座・イベント	開催時期
環境工房 流木アート	7月4日(土)	夏休みこども環境講座	8月に8回程度
環境学習指導者養成講座 PLT(プロジェクト・リーダー)指導者養成セミナー	夏以降	イベント キッズエコフェア(春・秋)	春:4月25・26日(土・日) 秋:10月3・4日(土・日)
環境学習指導者養成講座 インタープリター養成講座	8月16日(日)、23日(日) 9月6日(日)、23日(祝・水)	イベント Mieこどもエコフェア	7月18・19日(土・日)
環境学習指導者養成講座 環境学習リーダー養成講座	12月以降	かんきょう工作 あそべるたいむ	毎月第2日曜日 13:30～15:30

三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越し下さい

Facebook @eco_zou

